

「ご存じですか 盲ろう者
向け通訳介助員派遣事業」

茨城県立聴覚障害者福祉センターやすらぎでは、目と耳に障害を持つている盲ろう者の方への派遣事業を行っています。

光と音が失われた状態で生活している盲ろう者は、見ること・聴くことができせん。このため、安全な移動が困難だったり、周囲の人とのコミュニケーションがとりにくく、自ら情報を得るのが難しいことがあります。

皆さんのご近所や、お知り合いに、このような方はいらっしゃいませんか？

現在お困りの方、ご相談いただければ、通訳・介助の派遣利用ができる場合もありますので、ご連絡・ご相談をお待ちしています。



▼問合先 茨城県立聴覚障害者福祉センターやすらぎ

☎ 029・248・0029
FAX 029・247・1369

ARCUS

Residency for Artists, Experiments for Locals, Moriya, Ibaraki

現在のアート・芸術文化を守谷から。

- 問合先 アーカススタジオ (もりや学びの里内)
日・月曜日休館 ☎ 46-2600 (10:00～18:00)
✉ arcus@arcus-project.com
◎詳細な情報はアーカスプロジェクトで検索!

アーティスト・イン・レジデンスプログラムの招へいアーティストの審査で慌ただしいアーカススタジオ。今年も、3組の枠に世界中から応募が殺到し、85か国・地域より過去最多の717件の応募がありました。これほど多数のアーティストが守谷のアーカスプロジェクトでの制作を望んでいることが大変誇らしいです。アーティストは8月に来日します。今年度もどうぞご期待ください。

◎過去招へいアーティストの活躍

シャロン・ロックハート (1996年招へい・米国出身) が、第57回ヴェネツィア・ビエンナーレに参加します (11月26日(日)まで開催)。同じエンナーレは、1895年より2年に1度開催されており、世界で最も権威ある現代美術の国際展覧会のひとつです。

ロックハートは1996年当時、御所ヶ丘中学校の体育館で目撃したバスケットボール部の練習風景と体育館の空間構成に着想を得て、映像を撮影しました。フランクフルトバレエ団のステイブン・ギャロウエイ氏に振付けを依頼し、25名の女子バスケットボール部員が出演。《Cosmogonka》という映像作品として完成させました。その作品は、その後、世界各地で多数上映されています。



▲ Sharon Lockhart

7月2日(日)

ふるさ都市もりや朝市

毎月第1日曜日に開催している、恒例の朝市です。

地元の野菜や特産品販売・市民によるフリーマーケット・ハンドメイド品販売、月替わりのプチイベント (7月は「やってみよう! ワークショップ」) も開催します。ご家族やお友達と一緒に駅前で楽しい時間をお過ごしください。

フリーマーケットの出店者も募集しています。

- 日時 7月2日(日) 10:00～14:00
- 場所 守谷駅西口駅前広場
※小雨決行
- 問合先 駅前イベント実行委員会
石澤 ☎ 090-3148-5370

